

発 町 第 4 0 号
令和元年 5 月 9 日

三朝町保育施設のあり方検討会会長 様

三朝町長 松浦 弘幸

本町における保育施設の今後のあり方について（諮問）

次代を担う子どもたちの健やかな成長は、誰もが願うところであり、本町も重要課題と位置付けて子ども子育て事業の推進を図っております。

近年、少子化・核家族化の進展に伴う家族形態の変化や人間関係の希薄化などを背景に、子育てに不安や負担、孤立感を感じる保護者が増えています。また、経済・雇用情勢、働き方の変化、女性の社会進出などにより、保育・幼児教育施設に対する期待は高まるとともにそのニーズはますます多様化しています。

本町が平成 31 年 3 月に策定した「第 1 次三朝町総合計画」、平成 27 年 3 月に策定した「第 2 次三朝町の自立に向けた行動計画」、同年 10 月に策定した「三朝町まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、これからの人口動向分析やそれに伴う町民生活への影響、行財政運営の課題など、未来を見据えたまちづくりへと発想を転換し、未来につながる持続可能な町づくりを町政運営の基本的な考え方としています。

とりわけ、子ども一人ひとりの豊かな育ちを保障し、かつ、子育て家庭を総合的に支える子育て支援の推進は、未来を拓き、次代を担う人づくりにつながる施策であり、保育施設が、その機能を発揮し、求められる役割を持続的かつ安定的に果たすことが重要であると考えています。

つきましては、子ども子育てを取り巻く現状と課題、長期的な保育ニーズへの対応を踏まえ、本町の保育施設のあるべき方向を様々な視点から検討していただき、質の高い保育・幼児教育を持続的かつ安定的に供給していくため「三朝町における保育施設の今後のあり方について」貴委員会の意見を求めます。